

2月も役立つ講座がいろいろ!

子育てリフレッシュサロン

◆2月13日(木) 10:00~11:30
 場所: 参画センター学習研修室3
 参加費: 無料
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



シングルマザーの会

◆2月16日(日) 13:30~15:00
 場所: 参画センター学習研修室3
 参加費: 無料
 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



摂食障がい家族の会

◆2月15日(土) 13:30~15:00
 場所: 参画センター相談室
 参加費: 無料



男女共同参画のキーワード

(女性の政治参画マップ2024)

「政治参画マップ」で、地方の政治分野における都道府県ごとの女性の参画状況(知事、市区町村長、都道府県議会の長及び議員、市区町村議会の長及び議員)について、ご覧いただけます。政治分野における女性の参画拡大は、多様な民意の反映のため極めて重要です。しかしながら、我が国の政治分野における女性の参画状況は、国・地方ともに依然として低い水準にとどまっています。

そこで内閣府は、政治分野における女性の参画状況を分かりやすく「見える化」するため、女性の政治参画マップを毎年作成しており、2019年には「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が公布・施行され、その概要や女性ゼロ議会の状況等を盛り込んだマップを作成し、地方公共団体等に配布しました。

また、市町村議会議員に占める女性の割合等を地図上で分かりやすく「見える化」している「市町村女性参画状況見える化マップ」の項目を拡充し、市町村議会における女性が活躍しやすい環境の整備状況を「見える化」しました。23年の統一地方選では熊本、鹿児島、香川、岡山、青森、山形に大きな動きがみられました。

香川県議会では女性議員が2人から9人に増え、全国的に見ても躍進が目立ちました。しかし、県内市町村の18議会に占める女性の割合は10.9%。最高は28.6%、最低は4.5%だったので、今後も女性議員数が増えるような政策や活動に注視していきたいものです。

★内閣府男女共同参画局ホームページの『国・地方公共団体における「見える化」』ページで、データのダウンロードが可能です。

さんかく交流サロン

「今年の抱負を語り合おう!」
 ◆2月20日(木) 13:30~15:00
 参加費: 無料



第2回 南海トラフ地震・防災講座

「いざという時の近所力
 ~地域防災の大切さ~」
 ◆2月17日(月) 13:30~15:00
 講師: 岩崎 正朔さん(かがわ自主ぼう連絡協議会会長)
 参加費: 無料 託児: あり、無料(1週間前までに要予約)



女性のための就労支援講座

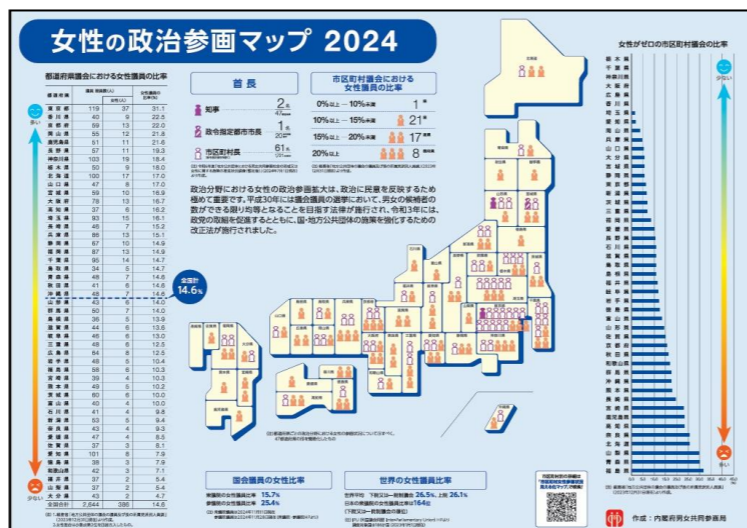
「人間関係をよくする
 アサーティブコミュニケーション」
 ◆2月21日(金) 10:30~12:00
 講師: 仁賀 順子
 (キャリアコンサルタント、参画センター相談員)
 参加費: 無料 定員: 10人程
 託児: あり、無料、1週間前までに要予約



知ってる?



マップ拡大



(資料:内閣府 男女共同参画局)

1月の行事から

11~12

鉄道模型展~新春!! 親子で遊ぼう 鉄道模型~
 場所: 学習研修室1・2・3、ふれあい交流サロン
 主催: 高松鉄道模型同好会、徳島模型鉄道の会、桃太郎鉄道、高松男女共同参画センター
 参加人数: 225人

模型電車の体験運転、夜景運転のDVD映像の視聴、おもちゃ電車で遊ぶ、ミニジオラマ展を見るなど、また、塗り絵やペーパークラフトを作り鉄道模型を楽しみました。
 (参加者の感想)
 「子どもが好きなはやぶさを運転させてもらえて良かった」等



1/23

さんかく交流サロン
 クラフトテープで可愛いかごバッグを作ろう

場所: 学習研修室2 参加者: 4人
 講師: 松井 康江さん

今回は、気持ちがうきうきするようなグリーン色のクラフトバッグを作った。講師の方が一人一人丁寧に教えてくださったので、少し時間延長したが、最後まで作ることができ、大変好評だった。
 (参加者の感想)
 「とても楽しくて、見た目も美しく、友に自慢できます」「持ち歩くのが楽しみです」等。



1/20

南海トラフ地震・防災講座
 自分や家族が生き延びるために~命を守る備えと避避行動~

場所: 学習研修室1・2・3 参加者: 35人
 講師: 岩崎正朔さん(かがわ自主ぼう連絡協議会会長)
 先日起きた日向灘地震により、30年以内に起こるであろう南海トラフ地震発生確率が80%程度に引き上げられた。自分の住んでいる地域が過去どのような被害にあったかを調べておいた方がよい。活断層や海溝の位置や特性を知り、準備したい。南海地震はフィリピン海溝のずれで起きるが、他の海溝と比べると浅いため、揺れが大きくなるそう。まずは自分自身の身を守り、地域の人たちとの連携が取れる体制を整えたい。

(参加者の感想)
 「具体的に事例・体験したことを聞いて勉強になった。防災マップにもう一度目を通したい」「避難所のレイアウトをみんなで考えて、実際に配置して経験したい」「今日学んだことを実行して、1年に2~3回は見直そうと思います」「しばらくは水・食料品を用意するが、期限が過ぎるとそのままになり反省するばかりです」「早速、自宅の中を見直したいと思います」「皆さんの防災意識が大変参考になりました」等多数。



トピックス

令和7年度 男女共同参画週間キャッチフレーズを募集!

「人材の育成・ネットワークの形成」を軸とした取組を進めるためのキャッチフレーズ。
 我が国の女性活躍・男女共同参画を持続的に推進していくために必要な人を育てること、人と人とのネットワークづくりをイメージしたキャッチフレーズを募集します!

- 【応募要項】
- 応募方法内閣府男女共同参画局ホームページの「令和7年度男女共同参画週間キャッチフレーズの募集」から、応募フォームに必要事項を入力の上、ご応募ください <https://www.gender.go.jp/public/week/index.html>
 - 応募期間: 令和7年1月10日(金)~2月24日(月)
 - 応募資格: どなたでも応募できます。ただし、応募作品は未発表の自作のものに限ります。

参画週間のキャッチフレーズ募集!

- 選考方法: 内閣府及び外部審査員による厳正な審査により決定いたします。



こちらから



- 最優秀作品は、令和7年度男女共同参画週間のポスターをはじめ、様々な機会に使用します。
- 最優秀作品、優秀作品は男女共同参画週間期間(6/23~29)中に表彰いたします。
- 選考結果については、令和7年4月頃に男女共同参画局ホームページ等で発表する予定です。問合せ先 内閣府男女共同参画局総務課「男女共同参画週間キャッチフレーズ募集係」03-5253-2111(代表) E-mail: gequality-kouhou@cao.go.jp